

第256回研究科委員会・第367回教員会議議事録

日時：令和6年3月13日（水） 研究科委員会 12:50～13:35 / 教員会議 13:35～15:10

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

議題

◆研究科委員会◆

[審議事項]

1. 研究科長

(1) 客員教員（ハイテクプラザ）の任用について

資料1に基づき説明があった。2名について紹介され、人事委員会で認められたことが報告された。質問等はなく、提案通り承認された。

2. 教務委員会

(1) 博士論文学位審査について（投票）

回収資料に基づき2件の博士論文学位審査の説明があった。教授から主査の立場で最終試験結果報告書の説明があった。A氏について、基準を満たし博士号授与にふさわしく、合格と判定したとの報告があった。A氏の報告に関して、准教授から特許について質問があった。主査の教授から、特許は参考情報として扱い、学位審査では論文審査等がメインとなるとの返答があった。また、特許の内容は個別に返答するとの付言があった。教授から、報告書2ページの誤字に関する指摘について、このまま報告書にこの記述を載せるのか、また、最終的に誤字が直っているかとの質問があった。主査の教授から、審査報告書は公開されないの誤字の指摘はそのままとし、その指摘に沿って論文修正は対応しているとの返答があった。教務課の担当者からは、誤字を修正した博士論文が図書館に入るとの説明があった。続いて、B氏についての報告があり、基準を満たし博士号授与にふさわしく、合格と判定したとの報告があった。B氏の報告に関して、質問等が出なかった。研究科長から投票について説明があり、2/3以上の出席のもと、出席者の2/3以上の賛成が必要であることと、投票は記名で行うとの説明があった。投票の結果、両氏とも、投票総数47、賛成47、反対0で学位授与が認められた。

(2) 令和6年3月修了判定について

回収資料に基づき修了判定について説明があった。博士前期課程では48名が修了予定者となっており、10名が修了延期者である。まずは、資料内容確認の依頼があった。つぎに、終了しない者の資料内容の確認依頼があった。質問等はなく、提案通り48名の修了が承認された。なお、博士後期課程で修了しない者についての説明もあった。

(3) 長期履修学生申請について

資料2に基づき、1件の申請について説明があった。指導教員の教授が定年退職されるので、条件付きで認められるとの審査会の報告があった。質問等はなく、提案通り申請は承認された。

3. 学生生活委員会

(1) 授業料未納による除籍について

資料3に基づき説明があった。研究科では4名の学生が未納となっている。指導教員等に協力依頼があり、今後の対応スケジュールについても説明があった。質問等はなく、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 研究科長

(1) 研究科担当教員資格審査申請について

人間発達文化学類の3名の教員に対する博士後期課程担当の資格申請について説明があった。人事委員会における審議過程の説明があり、人事委員会に提出された補足資料を基に審議され、3名ともマル合として資格審査申請が認められたとの報告があった。

2. 教務委員会

(1) 第108回全学教務協議会について

(審議事項)

- ・令和6年度非常勤講師計画(全体版)について

資料4-5に基づき、理工学研究科に関する説明があった。質問等はなく、提案通り承認された。

(報告事項)

- ・学則、大学院学則、TA要項の改正について

資料5に基づき説明があった。大学設置基準の大幅改正に伴い、TA要項に研修義務化が追記される。研究科長から、TAへの説明会が義務化され、TAの内容について教員も把握しておく必要があるとの付言があった。

3. 学生生活委員会

(1) 令和5年度3月期学生表彰について

資料6に基づき説明があった。8名の表彰該当者が学長賞となることが報告された。博士前期課程院生の学業成績優秀表彰該当者は主査・副査の投票で決まるので、来年度も投票への協力依頼があった。

◆教員会議◆

[審議事項]

1. 学類長

(1) 客員教員の任用について

資料7に基づき説明があった。4名の申請があり、人事委員会で認められたことが報告された。質問等はなく、提案通り承認された。

(2) 客員研究員の任用について

資料8に基づき、2名の申請について人事委員会で認められたことが報告された。質問等はなく、提案通り承認された。

(3) 共生システム理工学類附属水素エネルギー総合研究所規程の制定および
共生システム理工学類選考規程の改正について

資料9に基づき2点に関する説明があった。質問等はなく、提案通り承認された。

(4) 共生システム理工学類附属水素エネルギー総合研究所副所長の選任について

資料はなく、口頭で学類長より副所長として教授を推薦したいとの提案があった。質問等はなく、提案通り承認された。

(5) 令和6年度委員会名簿(案)について

資料10に基づき説明があった。全学からの要望があり、何度も執行部で検討したとの説明が学類長からあった。疑問や提案、意見などを出してほしいとの付言があった。評議員から、委員会名簿案に関する詳細な補足説明があった。とくに質問等は出されなかった。学類長から、18日までに学類長と支援室に意見や質問を出してほしいとの付言があった。

2. 教務委員会

(1) 令和6年3月卒業判定について

回収資料に基づき説明があった。まずは専攻所属学生（旧カリ生）について説明があり、質問等が出なかった。次にコース配属学生（新カリ生）について説明があった。委員長から指導学生の記述に誤りがないかどうかのチェック依頼があった。質問等はなく、資料に記載の学生全員の卒業が認められた。

(2) 非正規生（研究生・科目等履修生）の受入れについて

資料11に基づき、1名の研究生について説明があった。質問等はなく、提案通り承認された。次に5名の科目等履修生について説明があり、質問等はなく、提案通り承認された。

3. 学生生活委員会

(1) 授業料未納による除籍について

資料3に基づき説明があった。指導教員等への協力依頼があった。質問等はなく、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 学類長

(1) 設置審査対応について

まず、学類長から、昨年秋から執行部、人事委員会、将来構想検討委員会で設置審対応の準備・検討を進めてきたとの説明があった。また、全学改革の動きや教員配置案についてもプロジェクター投影により説明があった。既に定年退職されている特任教員と学士課程改革の際に他学類へ移る予定の教員が担当する科目は除いていること、完成年度までに定年退職される予定の教員が担当する科目は除いているものと残しているものがあることが説明された。ここまでの説明に対して、教授から、学類長から説明を受けたが、大学院改革や理工強化の理屈、将来の特任教員について質問があった。学類長から、完成年度までに定年退職になる3名の特任については決まっていないこと、今後は全学的に特任が認められにくくなるとの返答があった。また、大学院改革と今回の全学改革の動きに関しての経緯と全学からの要望についての補足説明があった。全学執行部と理工執行部の間での協議状況、高度情報専門人材についても付言があった。教授から、高度情報専門人材におけるデータサイエンスの必要性について質問があった。学類長から、高度情報専門人材で何が核になるのかについて検討してきたとの返答があった。これ以外に質問・意見等が出なかった。

次に、資料12に基づき、評議員から「教育課程等の概要」表について説明があった。この表に記載されている科目は完成年度まで開講する必要があること、表に新たに科目を追加することは可能であることが説明された。別の教授から、社会計画概論および社会計画演習Ⅰ・Ⅱの担当人数について質問があった。評議員から、教務課にも確認するとの回答があった。准教授から、どの科目が高度情報専門人材の核になる科目なのか、教えてほしいとの質問があった。学類長から、この概要表で高度情報専門人材の核となる科目を示しているわけではない、今回の設置審は定員増がメインの改革である、今年度公募した部分が今後必要になる分野となる、との返答があった。別の准教授から、まだ核は決まっていないという理解でよいか、新任教員の科目は概要表に入っているのかどうかとの質問があった。学類長から、新任教員は退職する教員の科目を引き継いだり分担したりしている、新任教員の新たな科目の追加等は来年度検討したいとの返答があった。学類長から、設置審書類の提出締め切りは来週なので、意見等は今週中（金曜日まで）に評議員宛に出してほしいとの依頼があった。

(2) 令和5年度ストレスチェックについて

資料13に基づき、学類長から説明があった。職場の支援に関する数値が理工学類では高めであるとの指摘があった。

2. アドミッションセンター運営委員会

(1) 令和7年度入試対応（総合型選抜・詳細版の公表）について

資料14に基づき説明があった。昨年実施した2年前予告の後も多く問い合わせがあり、総合型選抜

についての詳細版を公表することにした。赤字部分が今回加わったものである。募集枠についての文科省からの要望も反映した。第2次選抜、その他についても詳細に記述した。准教授から、「その他」で記述されている「通知書の提出を求めます」について、必ず出すのかとの質問があった。評議員から、基本的には出させるが、例外もありうるとの返答があった。評議員から、最初は必須だったが入試課のチェックで必須にすることはできずにこのような表現になったとの説明があった。教授から、課題等レポートの「等」が入った理由について質問があった。評議員から、模擬授業を評価対象項目から外した際に、「等」の文字が入ったとの説明があった。

3. 教務委員会

(1) 第108回全学教務協議会について

(審議事項)

- ・令和6年度非常勤講師計画（全体版）について

資料4-5に基づき説明があった。理工からの要望は全て認められたとの付言があった。

- ・「地域×データ」実践教育プログラムの創設について

資料15に基づき説明があった。赤字の科目が追加され、食農からの追加が多いとの付言があった。

(報告事項)

- ・令和6年度地域実践特修プログラム科目について

資料16に基づき説明があった。新しい科目が追加された。

- ・教職課程認定の取り下げについて【中・高（家庭）、中（技術）、高（工業）】

資料はなく、口頭で説明があった。学類長から、全学で確認されたとの付言があった。

- ・卒業時DP評価の実施について

資料17に基づき説明があった。3月18日（月）までに、卒業生に対する評価を必ず行ってほしいとの依頼があった。学生が入力していないと教員が入力できないことに注意が必要であるとの付言があった。

4. 基盤教育委員会

(1) 2024（令和6）年度新規非常勤講師の任用について（基盤教育科目）

資料18に基づき説明があった。理工から出した2件とも認められたとの報告があった。

5. 学生生活委員会

(1) 令和5年度 3月期学生表彰について

資料6に基づき説明があった。何人かの理工学類生が含まれている。学業成績優秀者については、GPA3.60を獲得した同点者が2名いたので、申し合わせに基づき総GPが多い方の学生1名を選出したとの付言があった。

6. 奨学寄附金の受入について

奨学寄附金1件、受託研究2件の報告があった。

その他として、学類長から学類パンフレットを2000冊準備したとの報告があった。年度内は難しいので、新年度に入ってから高校への広報活動を行いたいので、パンフレットを活用してほしい。新しい入試方法の資料も準備する予定であるとの説明があった。

学類長から、部屋の使い方について、新任教員のスペースも必要になるので、施設課等とやりとりをしてきたとの報告があった。人間発達文化学類棟の5階に3部屋あり、理工棟1階の部屋も新任教員用に使うが、それでも足りない状況である。現在プロジェクト室を募集しているが、使わない部屋があれば協力をお

願いたいとの依頼があった。

◆運営会議◆

○第196回（3月5日開催）報告

（1）【報告】学類教員会議における代議員会等及び
研究科委員会における専門委員会の設置について
資料1に基づき，食農学類から合否判定会議（仮称）の提案があったことが紹介された。

（2）【報告】労働安全衛生法における新たな化学物質規制の導入について
資料2に基づき，新たな化学物質規制が導入されるので，今後学類としての対応が必要となるとの説明があった。資料に目を通してほしいとの付言があった。

（3）【その他】来年度の会議スケジュールについて
資料3に目を通してほしいとの依頼があった。

（4）その他情報共有等
准教授から，教員親睦会の出席変更は3月18日までに連絡してほしいとのアナウンスがあった。

学類長から，来年度の親睦会の担当は，前期が教授4名，後期が教授2名と准教授3名であるとの情報共有があった。

以上